

食品中に存在するホルムアルデヒドについて

(昭和54年度食品衛生調査研究)

国立衛生試験所食品部

内山充、近藤龍雄

本調査では各種食品中の天然由来のホルムアルデヒドの含量を把握するために、これまでに文献に現われた数値をほとんど集録して整理し、食品衛生行政上の資料とすることを目的とした。

水産動物筋肉中に広く存在するトリメチルアミンオキサイドの含量については詳しい研究^{12), 47), 51)}があり、トリメチルアミンオキサイドの酵素分解⁵¹⁾あるいは還元剤^{13), 15), 40), 53)}の作用など⁵²⁾の原因で水産動物にかなり広範囲にわたってホルムアルデヒドの存在が確認されている。また、生鮮魚介類のトリメチルアミンオキサイドからホルムアルデヒドを生成する酵素はたら類においてのみ存在することが知られていたが、多くの水産動物についての調査の結果、かなりの種類にこの酵素が存在することがわかり、その反応機構について酵素触媒と非酵素触媒を用いた実験が行われ、その転位反応式も推定されている⁵¹⁾。なお、ホルムアルデヒドはすけとうだらなどの魚肉の冷凍変性を促進するという文献^{12), 30)}もある。

ホルムアルデヒド含量の高いしいたけについては生成機構の解明が行われ、レンチニン酸からしいたけ香気成分レンチオニンに至る過程で、グルタミン酸、ピルビン酸、いおう化合物、アセトアルデヒドと共にホルムアルデヒドが酵素反応的に生成し、レンチニン酸よりアーグルタミルトランスペプチダーゼの作用によってグルタミン酸残基を離脱させた des-Glu レンチニン酸から、ホルムアルデヒドの生成を触媒するシステインスルホキシドリニアーゼ様酵素の性質が検討され、特異的なホルムアルデヒドの生成機構が明らかとなった⁵⁴⁾。そして、既存の文献の中に現われたホルムアルデヒドの食品中含量分析値を食品別に整理し、分析法と文献およびその他の参考事項を付してまとめたものが次表である。

ホルムアルデヒドは細胞原形質の蛋白を凝固または変性させ、すべての細胞機能を抑止、死滅させる作用があるために細胞毒³⁷⁾として知られ、その毒性のため食品への使用は禁止されている。従来 食品衛生法では食品一般の成分規格の第1項で「食品はホルムアルデヒドの検出されるものであつてはならない」と規定されていたが、(昭和38年にたらおよびすけとうだらに、昭和43年にはしいたけにホルムアルデヒドが天然に含まれることが判明し、さらに国立衛生試験所等でしいたけ等の食品について調査した結果、しいたけ等一部の食品には天然成分としてホルムアルデヒドを含むことが認められたため、食品衛生調査会で審議され「これら天然に含有するホルムアルデヒドについては、その程度では人の健康を害う恐れがない」との意見にもとづき昭和45年に前記成分規格の第1項は削除された。しかし、ホルムアルデヒドは強い防腐および殺菌作用があるため不法に使用されることもある。

食品中のホルムアルデヒド含有量

() 内は文献番号、○内の数字は検体数を示す

	ppm	分 析 法	文 献 ほ か
魚介類			
たら(筋肉) (<i>Gadus macrocephalus</i>)		トリクロル酢酸(TCA)処理、 アセチルアセトン法 (formaldimedoneとして確認)	(26) まだら
"	42	"	" 西カムチャッカ船上で冷凍
"	74	"	" ベーリング海で捕獲、船上で冷凍
"	81	"	" "
"	56	"	" オリュトルスキーヨー沖で捕獲、 船上冷凍
"	66	"	" ベーリング海船上冷凍
"	150	"	" オリュトルスキーヨー沖で捕獲、 船上冷凍
"	25	"	" 捕獲海域不明、冷凍
"	34	"	" 北海道釧路沖で捕獲、氷づめ
"	51	"	" "
"	61	"	" 塩釜で購入、氷づめ
"	100	"	" 捕獲海域不明、塩干品
"	25	"	" オリュトルスキーヨー沖で捕獲、 塩干品
たら(皮)	5	"	(26) まだら 新潟市沖で捕獲
(筋肉表面)	1	"	" 魚獲後冷蔵したものを揚陸後直ちに各組織に分け、-20°一夜貯藏したもの
(筋肉内部)	1	"	"
(肝臓)	9	"	" 皮および筋肉で亜硫酸に対する反応陰性
(幽門垂)	52	"	"
(胃)	36	"	"
(胃内容物)	9	"	" Nigisu <i>(Argentina semifasciata)</i>
(卵巣)	5	"	" spent
(胆のう)	41	"	"
たら(筋肉表面)	15	TCA処理、アセチルアセトン法	(27) まだら 新潟越佐海峡で漁獲、市場に水揚げしたのに直ちに各組織に分け、-20°に1夜凍結
(肝臓)	81	"	"
(幽門垂)	40	"	"
(胃)	67	"	"
(胃内容物)	5	"	"
(卵巣)	31	"	" spent
(脾臓)	48	"	"
たら(皮*)	12	"	(27) まだら 漁獲後直ちにドライアイスで凍結、-30°で2ヶ月間貯蔵後各組織に分けた。
(筋肉表面)	3	"	" *血合肉は完全除去
(筋肉内部)	3	"	"

試験	ppm	分析法	文献ほか
たら		除蛋白後、直接蒸留したのちクロモトロブ酸法(A)およびアセチルアセトン法(B)	(24) まだら 但し、留液20mlを採取し定量した値
" { 肉	0.4(A), 0.5(B)	"	"
皮	2.9(A), 3.6(B)	"	"
" { 肉	0.5(A), 0.4(B)	"	"
皮	3.4(A), 3.5(B)	"	"
" { 肉	0.4(A), 0.5(B)	"	"
皮	3.2(A), 3.5(B)	"	"
" { 肉	0.3(A), 0.5(B)	"	"
皮	2.8(A), 2.8(B)	"	"
たら		TCA処理、アセチルアセトン法	(25) まだら アリューシャン列島附近で捕獲 硬直前と解硬後 -20°で冷凍
" {	204	"	"
	210*	"	"
" {	146	"	"
	147*	"	"
たら(硬直前)			(25) まだら
背肉	13	"	"
尾肉	45	"	"
腹肉	142	"	"
皮	320	"	"
血合肉	590	"	"
たら(解硬後)			(25) まだら
背肉	42	"	"
尾肉	65	"	"
腹肉	70	"	"
皮	244	"	"
血合肉	350	"	"
たら(背肉)			(25) まだら
-20° 冷凍保存			
" { 3ヶ月	20	"	"
5ヶ月	13	"	"
6ヶ月	9	"	"
" { 3ヶ月	34	"	"
5ヶ月	20	"	"
6ヶ月	20	"	"
たら(背肉)			(25) まだら
-20° 冷凍保存			
" { 3ヶ月	48	"	"
5ヶ月	25	"	"
" { 3ヶ月	94	"	"
5ヶ月	42	"	"
" { 3ヶ月	99	"	"
5ヶ月	103	"	"
たら(背肉)			(25) まだら
-20° 5ヶ月保存後	20.4	"	"

	ppm	分析法	文献ほか
たら 続いて -5° 2週間保存 3週間 4週間 5週間 -20° 5ヶ月保存後	23.2	TCA処理, アセチルアセトン法	(25) まだら
	32.4	"	"
	144.0	"	"
	68.2	"	"
	25.4	"	"
	42.4	"	"
	62.4	"	"
	103.0	"	"
	26.4	"	"
		蒸留法, クロモトロブ酸法	(25) まだら 北海道産冷凍
たら 背肉 白身 肝臓 たら子	21	"	"
	4.6	"	"
	23	"	"
	4.6	"	"
たら (<i>Gadus macrocephalus</i>) -26° 保存		TCA処理 3-Methyl-2-benzothiazolone hydrazone(MBTH)法	(11) まだら
たら(切身, 氷ずめ) 0日 3ヶ月 6ヶ月 9ヶ月 12ヶ月	14.5	"	"
	19.8	"	"
	22.3	"	"
	23.8	"	"
	34.8	"	"
" (ひき肉, 氷ずめ) 0日 3ヶ月 6ヶ月 9ヶ月 12ヶ月	20.5	"	"
	36.9	"	"
	36.9	"	"
	45.4	"	"
	81.1	"	"
" (切身, 防水フィルム包装) 0日 3ヶ月 6ヶ月 9ヶ月 12ヶ月	13.0	"	"
	14.2	"	"
	19.0	"	"
	18.6	"	"
	23.5	"	"
" (ひき肉, 防水フィルム包装) 0日 3ヶ月 6ヶ月 9ヶ月 12ヶ月	20.5	"	"
	32.0	"	"
	36.5	"	"
	48.4	"	"
	67.5	"	"
たら 1~4° 保存 0日 2日		TCA処理, アセチルアセトン法	(50) まだら 新潟沖で捕獲, -30° で2ヶ月貯蔵したもの
	3.3	"	"
	20	"	"

	ppm	分析法	文献ほか
4日	7.3	TCA処理, アセチルアセトン法	(50)
7日	13.3	"	" 7日後初期腐敗
10日	8.0	"	"
14日	5.3	"	"
たら	30	水蒸気蒸留, アセチルアセトン けい光法	(23)
すけとうたら(筋肉) (<i>Theragra chalcogramma</i>)	5	TCA処理, アセチルアセトン法	(26)越佐海峡で捕獲, 直ちにドライ アイス処理
すけとう(皮) (筋肉表面)	9	"	(26)新潟市沖で捕獲
(筋肉内部)	2	"	"
(肝臓)	2	"	"
(幽門垂)	5	"	"
(胃)	75	"	"
(胃内容物)	36	"	"
(卵巣)	18	"	" 小えび
(胆のう)	5	"	"
すけとう(卵巣)	57	"	"
(睾丸)	1	"	" fully matured
すけとう(肝臓)	2	"	" spent
(幽門垂)	36	TCA処理, アセチルアセトン法	(27)新潟越佐海峡で漁獲, 市場に水 揚後直ちに各組織に分け -20° で一夜凍結
(胃)	59	"	"
(胃内容物)	88	"	"
(卵巣)	19	"	"
(胆のう)	33	"	"
(脾臓)	88	"	"
すけとう(皮)*	69	"	"
(筋肉表面)	41	"	(27)漁獲後直ちにドライアイスで凍 結, -30°で3ヶ月貯蔵したの ち各組織に分けた。
(筋肉内部)	6	"	" *血合肉完全除去した。
(肝臓)	4	"	"
(幽門垂)	68	"	"
(胃)	72	"	"
(睾丸)	59	"	"
すけとう	36	"	" spent
{	123	TCA処理, アセチルアセトン法	(25)アリューシャン列島附近で捕獲 硬直前と解硬後 -20°で冷凍
-130*	130*	"	" *除蛋白液を蒸留して定量した もの
{	90	"	"
92*	92*	"	"
すけとう(硬直前)			(25)
(背肉)	57	"	"
(尾肉)	25	"	"

	ppm	分析法	文献ほか
すけとう(腹肉)	110	TCA処理, アセチルアセトン法	(25)
(皮)	224	"	"
(血合肉)	310	"	"
すけとう(解凍後)			
(背肉)	39	"	(25)
(尾肉)	34	"	"
(腹肉)	264	"	"
(皮)	176	"	"
(血合肉)	196	"	"
すけとう, 背肉 -20° 冷凍保存			(25)
" { 3ヶ月	16	"	"
" { 5ヶ月	9	"	"
" { 6ヶ月	8	"	"
すけとう, 背肉 -20° 冷凍保存			(25)
" { 3ヶ月	38	"	"
" { 5ヶ月	9	"	"
" { 6ヶ月	23	"	"
すけとう, 背肉 -20° 冷凍保存			(25)
" { 3ヶ月	46	"	"
" { 5ヶ月	29	"	"
" { 3ヶ月	49	"	"
" { 5ヶ月	39	"	"
" { 3ヶ月	127	"	"
" { 5ヶ月	57	"	"
" { 3ヶ月	170	"	"
" { 5ヶ月	82	"	"
すけとう, 背肉 -20° 5ヶ月保存後 続いて -5°			(25)
2週間保存	8.5	"	"
" { 3週間	27	"	"
" { 4週間	22.6	"	"
" { 5週間	28.5	"	"
" { 5週間	51.5	"	"
-20° 5ヶ月保存後 続いて -5°	9.4	"	(25)
2週間保存	39	"	"
" { 3週間	45.2	"	"
" { 4週間	82.0	"	"
" { 5週間	52.5	"	"
すけとう 1~4° 保存		TCA処理, アセチルアセトン法	(50)新潟沖越佐海峽で捕獲, -30° で3ヶ月貯蔵したもの
0日	6	"	"
2日	24.3	"	"
4日	30.6	"	"
7日	30.6	"	"

	ppm	分 析 法	文 献 ほ か
10日	28.1	TCA処理, アセチルアセトン法	(50)
14日	16.0	"	"
すけとう, 背肉 ポリエチレン袋に封入 -17~-19° 凍結貯蔵		TCA処理, アセチルアセトン法	(30)
0日	2	"	"
1週間	25	"	"
4週間	53	"	"
3ヶ月	127	"	"
6ヶ月	207	"	"
すけとう, 背肉 -17~-19° 保存			(30) 日本海 余市海岸沖で捕獲ごく新鮮
" 右 { 0日	3.1	"	"
" 右 { 7日	23.8	"	"
" 右 { 75日	62.9	"	"
" 左 { 0日	3.2	"	"
" 左 { 7日	23.9	"	"
" 左 { 75日	116	"	"
" 右 { 0日	2.7	"	"
" 右 { 7日	17.5	"	"
" 右 { 75日	85.4	"	"
" 左 { 0日	2.9	"	"
" 左 { 7日	20.2	"	"
" 左 { 75日	100	"	"
" 右 { 0日	3.5	"	"
" 右 { 7日	15.4	"	"
" 右 { 75日	68.5	"	"
" 左 { 0日	1.4	"	" ホルムアルデヒド生成量凍結期 間の延長とともに増加する。
" 左 { 7日	17.1	"	"
" 左 { 75日	90.2	"	"
すけとう, 背肉 -17~-19° 保存			(30) 日本海雄冬海岸沖で捕獲, ごく 新鮮
" 右 { 0日	2.0	"	" ホルムアルデヒドの生成量多い魚 体では蛋白の不溶化が大きかった。
" 右 { 7日	21.0	"	"
" 右 { 30日	59.2	"	"
" 左 { 0日	2.1	"	"
" 左 { 7日	8.3	"	"
" 左 { 30日	29.0	"	"
" 右 { 0日	1.7	"	"
" 右 { 7日	7.1	"	"
" 右 { 30日	23.4	"	"
" 左 { 0日	2.1	"	"
" 左 { 7日	10.3	"	"
" 左 { 30日	34.5	"	"
" 右 { 0日	1.4	"	"
" 右 { 7日	14.7	"	"
" 右 { 30日	37.5	"	"